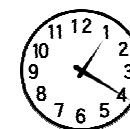
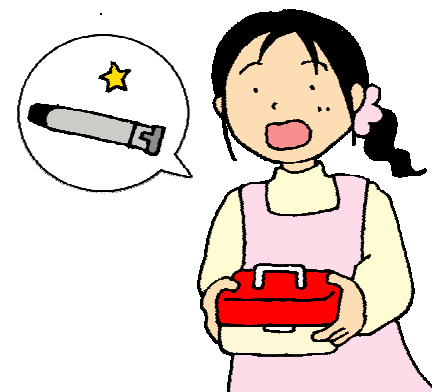
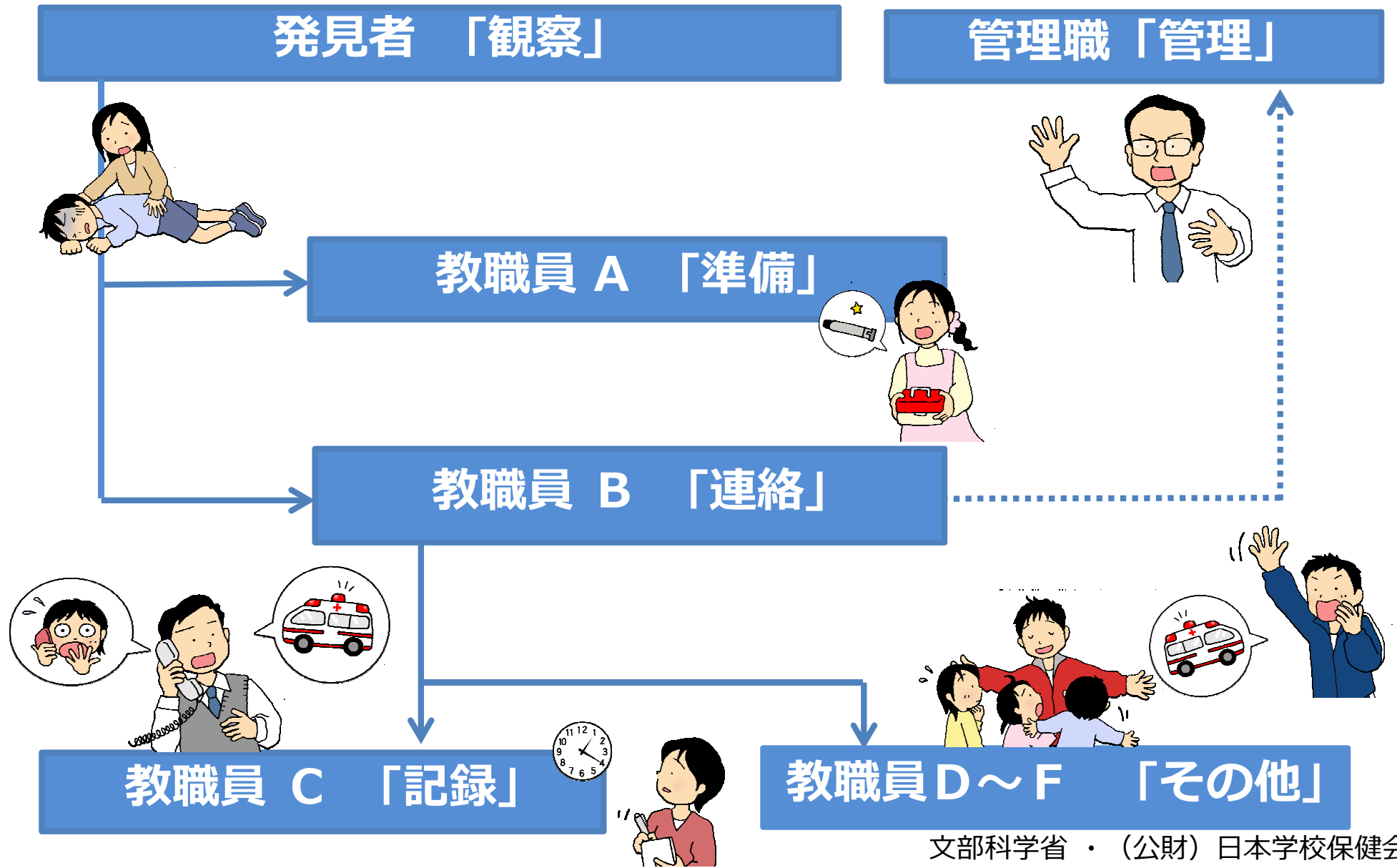


# 緊急時の対応



# 学校内での役割分担



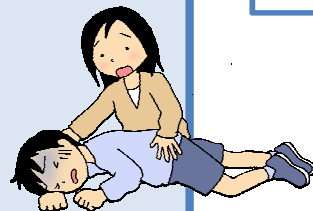
文部科学省・（公財）日本学校保健会

東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」一部改変し、引用

# 学校内での役割分担

## 発見者「観察」

- 子供から離れず観察
- 助けを呼び、人を集める
- 教職員A、Bに「準備」「連絡」を依頼
- エピペン®の使用または介助
- 薬の内服確認
- 心肺蘇(そ)生やAEDの使用



## 管理職「管理」

- それぞれの役割の確認及び指示



教職員 A 「準備」

教職員 B 「連絡」

教職員 C 「記録」

教職員 D～F 「その他」

# 学校内での役割分担

## 発見者「観察」

### 教職員 A 「準備」

- 「緊急時対応」を持ってくる
- エピペン®の準備
- AEDの準備
- エピペン®の使用または介助
- 心肺蘇(そ)生やAEDの使用

### 管理職「管理」



### 教職員 B 「連絡」

- 救急車を要請する ( 119 番通報)
- 管理者を呼ぶ
- 保護者への連絡
- さらに人を集める(校内放送)



### 教職員 C 「記録」

- 観察を開始した時刻を記録
- エピペン®を使用した時刻を記録
- 内服薬を飲んだ時刻を記録
- 5分ごとに症状を記録



### 教職員 D~F 「その他」

- ほかにの子供への対応
- 救急車の誘導
- エピペン®の使用または介助
- 心肺蘇(そ)生やAEDの使用

# 緊急時の対応

発見者 = 観察者

- ・ 子供から離れず観察
- ・ 助けを呼ぶ
- ・ 緊急性の判断
- ・ エピペン®、AEDを指示

アレルギー症状がある（食物の関与が疑われる）

原因食物を食べた（可能性を含む）

原因食物に触れた（可能性を含む）

呼びかけに反応がなく、呼吸がなければ、心肺蘇(そ)生を行う

## <緊急性が高いアレルギー症状>

### 全身の症状

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便を漏らす
- 脈が触れにくい
- 唇や爪が青白い

一つでもあれば

### 呼吸器の症状

- のどや胸が締め付けられる
  - 声がかすれる
  - 犬が吠えるようなせき
  - 息がしにくい
  - 持続する強いせき込み
  - ぜーぜーする呼吸
- (ぜん息発作と区別できない場合を含む)

### 消化器の症状

- 我慢できない腹痛
- 繰り返し吐き続ける



緊急性が高いアレルギー症状があるか、5分以内に判断

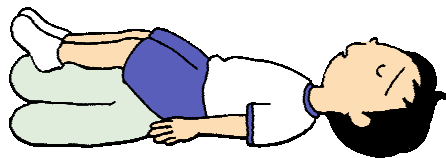
# 緊急性が高いアレルギー症状への対応

チームワークが大切

- ・ 救急車を要請（119番通報）
- ・ ただちにエピペン®を使用
- ・ 反応がなく呼吸がなければ、心肺蘇(そ)生を行う → AEDの使用
- ・ その場で安静にする **立たせたり、歩かせたりしない！**

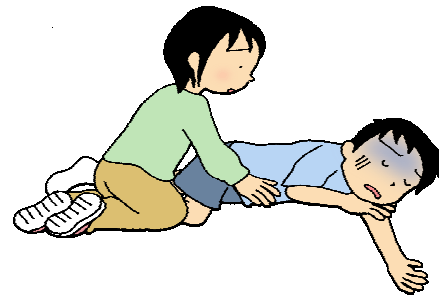
## ＜安静を保つ体位＞

ぐったり、  
意識もうろうの場合



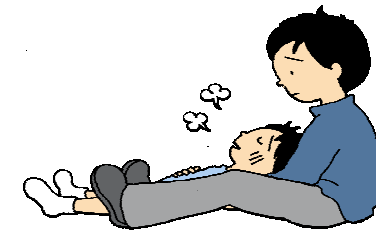
血圧が低下している可能性があるため、あお向けで足を15～30cm高くする

吐き気、おう吐がある場合



おう吐物による窒息を防ぐため、体と顔を横に向ける

呼吸が苦しく  
あお向けになれない場合



呼吸を楽にするため、上半身を起こし後によりかからせる

- ・ その場で救急隊を待つ

# エピペン<sup>®</sup>の使い方

## ① ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開けエピペン<sup>®</sup>を取り出す

## ② しっかり握る



オレンジ色のニードルカバーを下に向け、利き手で持つ

**“グー”で握る！**

## ③ 安全キャップを外す



青い安全キャップをはずす

## ④ 太ももの外側に注射する



太ももの外側に、エピペン<sup>®</sup>の先端(オレンジ色の部分)を軽くあて、“カチッ”と音がするまで強く押しあて、そのまま五つ数える  
**注射した後すぐに抜かない！  
押しつけたまま五つ数える！**

## ⑤ 確認する



エピペン<sup>®</sup>を太ももから離しオレンジ色のニードルカバーが伸びているか確認する

**伸びていない場合は「④に戻る」**

オレンジ色のニードルカバーの先端は、注射針が出てくる場所です。絶対に指や手等で触れたり、押したりしないでください。

# エピペン<sup>®</sup>の使い方

## 介助者がいる場合



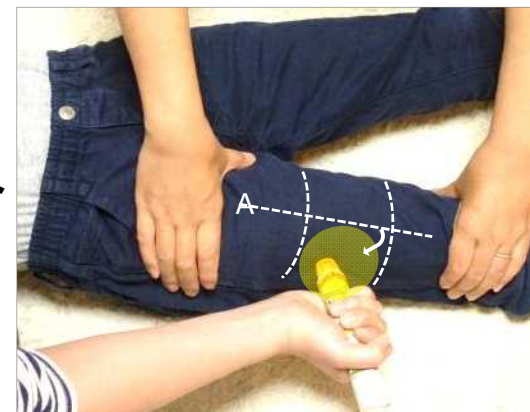
介助者は、子供の太ももの付け根と膝を しっかり押さえ、動かないように固定する

服の上からも注射できますが、注射部位を触って、縫い目がないこと、ポケットの中に何も無いことを確認しましょう。

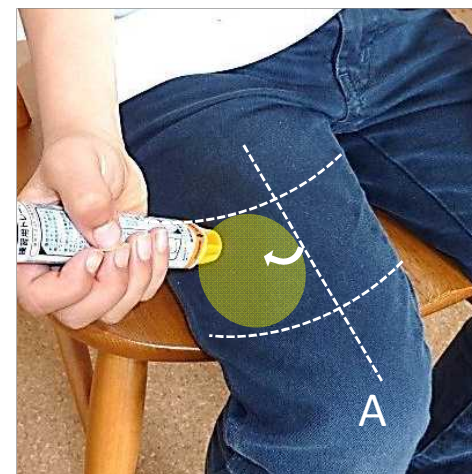
## 注射する部位

- 衣類の上から、打つことができる
- 太ももを三等分したかつ真ん中(A)よりやや外側に注射する

### あお向けの場合



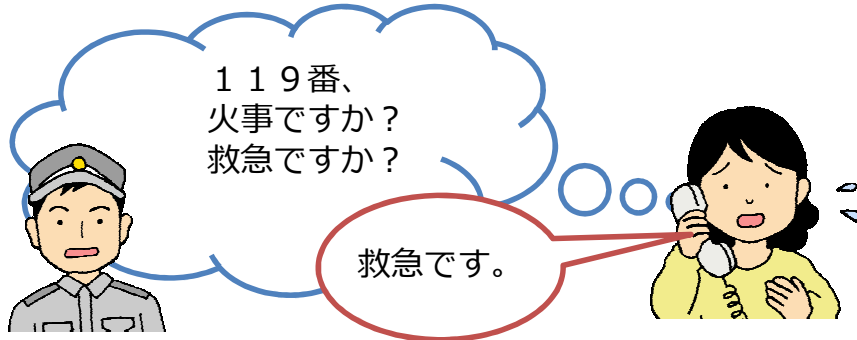
### 座位の場合



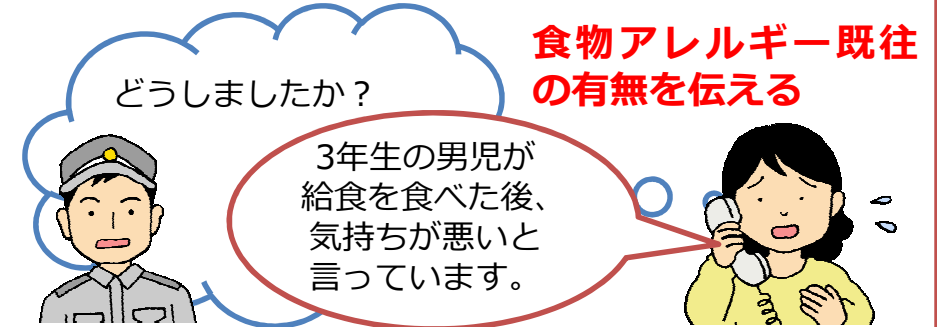


# 救急要請（119番通報）のポイント

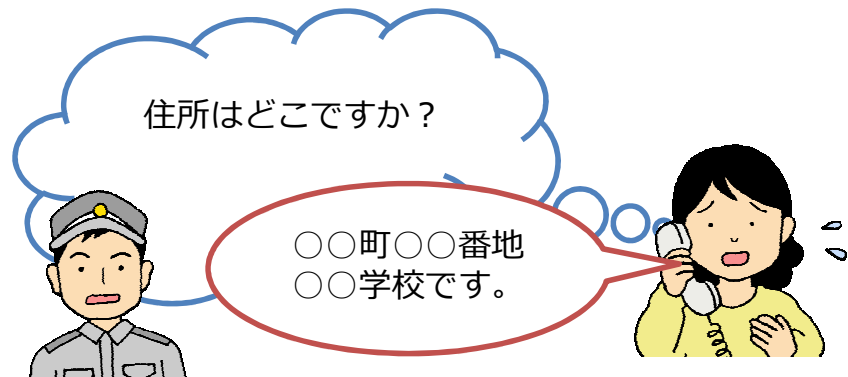
## ① 救急であることを伝える



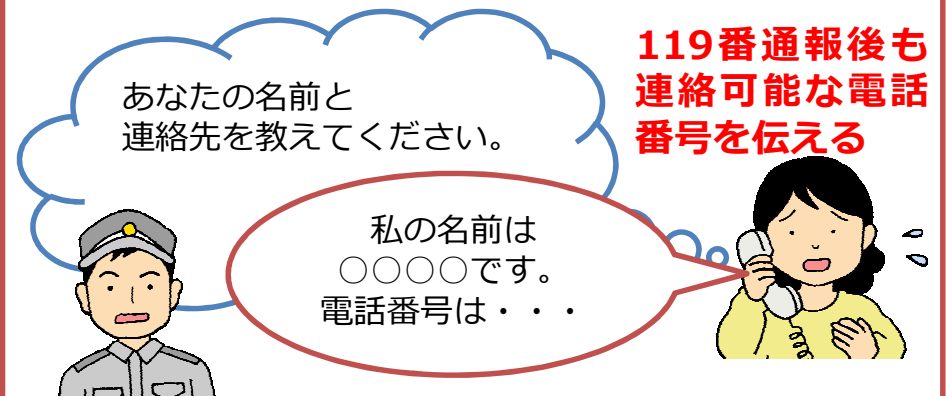
## ③ 「いつ、だれが、どうして、現在どのような状態なのか」を分かる範囲で伝える



## ② 救急車にきてほしい住所を伝える



## ④ 通報している人の氏名と連絡先を伝える



※ 救急隊から、その後の状態確認などのため、電話がかかってくることもある

- ・ 通報時に伝えた連絡先の電話は、常につながるようにしておく
- ・ 必要に応じて、救急隊が到着するまでの応急手当の方法を聞く

文部科学省 ・ (公財) 日本学校保健会

東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」一部改変し、引用